

# 令和元年度夷隅健康福祉センター運営協議会・質疑応答（要旨）

## 1 令和元年度主要事業の執行状況について

### 【総務企画課分（大塚副センター長説明）】

質疑応答

川俣委員（夷隅医師会長）

この管内には三育学院大学があるが、学生実習のあと、この地域に戻ってきてくれる人は何人くらいいるのか。ほかの大学も含めてでも結構です。

児玉地域保健福祉課長

正確な数は把握していないが、一昨年大多喜町に1名就職したと聞いております。

### 【地域保健福祉課分（児玉地域保健福祉課長説明）】

質疑応答

なし

### 【生活保護課分（小林生活保護課長説明）】

質疑応答

なし

### 【健康生活支援課分（中橋健康生活支援課長説明）】

質疑応答

なし

## 2 意見交換

川俣委員（夷隅医師会長）

医師会では予防接種・ワクチン接種を行ってきた。その中に、子宮頸がんワクチンについて、今はいろいろな理由から、定期的な接種はしておりません。副作用の問題も明らかな因果関係はないと言われている。今後は、十分な啓蒙をした上で、ワクチン接種をする方向で医師会として考えている。来年くらいから具体的な動きが始まる予定。

また、12月に公開講座を、夷隅医師会も共催で、千葉市で開催するので、無料ですので興味があったらぜひ御参加ください。

太田会長（いすみ市長）

いすみ市では、適齢の中学生に文書を送った。また、2市2町連携していきたい。さらに、小高先生、小路先生、県の方にもよろしくお願いします。

大野センター長

積極的な勧奨には、心理的な抵抗がSNS等を介して保護者に広がってしまっている。効果については、問題はないものなので推進できればよいと考える。

石田委員（御宿町長）

夷隅地域2市2町は千葉県内でも一番高齢化率が高い。とりわけ御宿町は県内一。医療・福祉・介護の需要が非常に高まっている。そういった中で、地域包括支援センターとの連携、医療との連携、介護との連携が非常に重要。

現在、CCRC事業を行っている中で、ある行政区は高齢化率が65%を越えており、町民からそういった要望が高い。

医療・介護との連携について、ご指導・ご支援をお願いしたい。

早川委員（夷隅地域獣医師会長）

捨て猫についての取り締まりについて、警察でどのように対応してもらえるのか。

上山オブザーバー（勝浦警察署生活安全課長）

相談があれば、捜査が必要なものかどうか判断する。捨てている人がいるという相談はあまりない。悪質なものについては立件も考える。

小路委員（千葉県議会議員）

県では、犬の条例はあるが猫の条例はない。最近苦情が多いので、都道府県によっては条例を作るところもある。猫の放し飼い、無法地帯になっているのではないかという問題がある。

児童虐待について、防げる死亡事例が防げなかった。田舎だから大丈夫だろうということはなく、野田のような事件を防ぐには、いろいろな機関の連携、児童相談所、学校、役所、民生委員さん等、ネットワークづくりをしていかななくてはいけない。

特に、この地域は児童相談所が茂原にしかないので、健康福祉センターに期待するところでは。

児玉地域保健福祉課長

児童虐待については、母子保健従事者研修会において、今年度は児童虐待の問題に力を入れました。精神科医の方に協力をいただき、予防の観点からもお話をいただいた。また、警察の方も来ていただき協力していただいた。

それぞれの支援がのりしろを重ね合わせるように、こぼれ落ちないような支援をモットーに、研修会や要保護児童対策地域協議会という市町で行っているものに呼んでいただいたり、実務者会議に入ったり、DVと虐待は切っても切れないので、メンタルヘルスが親のハイリスク要因というところにつながっていくので、当センターの精神福祉相談員も随時情報共有し、支援がつながっていくように心がけている。

早川委員（夷隅地域獣医師会長）

いすみ市には、猫の不妊手当を出してもらっている。この場を借りてお礼を申し上げたい。

川俣委員（夷隅医師会長）

亡くなくともいい命が亡くならないようにしたい。視覚障害者が、駅のホームで立て続けに転落するなどして2名亡くなった。困っている人がいたら、積極的に声掛けをしてほしい。また、白杖を持った人が、白杖を頭上に高く上げていたら困っているということなので、声掛けや見ているだけでもいいので、御協力をお願いしたい。

太田会長（いすみ市長）

最初にSOSを感じたところが、しっかり対応することが大事だと思う。白杖を持った人がいたら、優しい気持ちで支えるようにしましょう。